

# 徳山・下松港 貿易概況

## 平成23年分(速報値)

平成24年2月2日  
徳山税関支署

### 輸出は2年ぶりのマイナス 輸入は2年連続のプラス

#### 1. 総額

輸出	4,068億48百万円	(- 1.3%)
輸入	7,189億14百万円	(+ 24.8%)
輸出入差引額	3,120億66百万円の入超	(増減比は前年比、以下同じ。)

#### 2. 輸出

輸出総額は、4,068億48百万円、伸び率-1.3%、金額にして52億65百万円の減少で、2年ぶりのマイナスとなった。これは鉄鋼、プラスチックなどは好調であったものの、無機化合物、合成ゴムなどが不振だったことが主な要因となっている。

品目別動向では韓国、中国等向けの鉄鋼が67億34百万円の増加、中国、台湾等向けのプラスチックが64億51百万円の増加、シンガポール、韓国等向けの石油及び同製品が47億02百万円の増加、アメリカ、フィリピン等向けの自動車の部分品が17億22百万円の増加、中国、韓国等向けの有機化合物が12億03百万円の増加となった。

一方、韓国、台湾等向けの無機化合物が89億81百万円の減少、中国、オランダ等向けの合成ゴムが34億56百万円の減少、中国、韓国等向けの一般機械が23億13百万円の減少、シンガポール、香港等向けのセメントが15億03百万円の減少となった。

《増加品目》 鉄鋼	819億67百万円	( 67億34百万円増、+ 9.0%)
プラスチック	443億15百万円	( 64億51百万円増、+ 17.0%)
石油及び同製品	121億97百万円	( 47億02百万円増、+ 62.7%)
自動車の部分品	39億28百万円	( 17億22百万円増、+ 78.0%)
有機化合物	1,433億89百万円	( 12億03百万円増、+ 0.8%)
《減少品目》 無機化合物	277億16百万円	( 89億81百万円減、- 24.5%)
合成ゴム	351億50百万円	( 34億56百万円減、- 9.0%)
一般機械	26億44百万円	( 23億13百万円減、- 46.7%)
セメント	10億82百万円	( 15億03百万円減、- 58.2%)

#### 3. 輸入

輸入総額は、7,189億14百万円、伸び率+24.8%、金額にして1,428億78万円の増加で2年連続のプラスとなった。これは塩、鉄鋼くずなどは減少したものの、輸入品の8割弱を占める鉱物性燃料の原油及び粗油、石油製品などが増加したことが主な要因となっている。

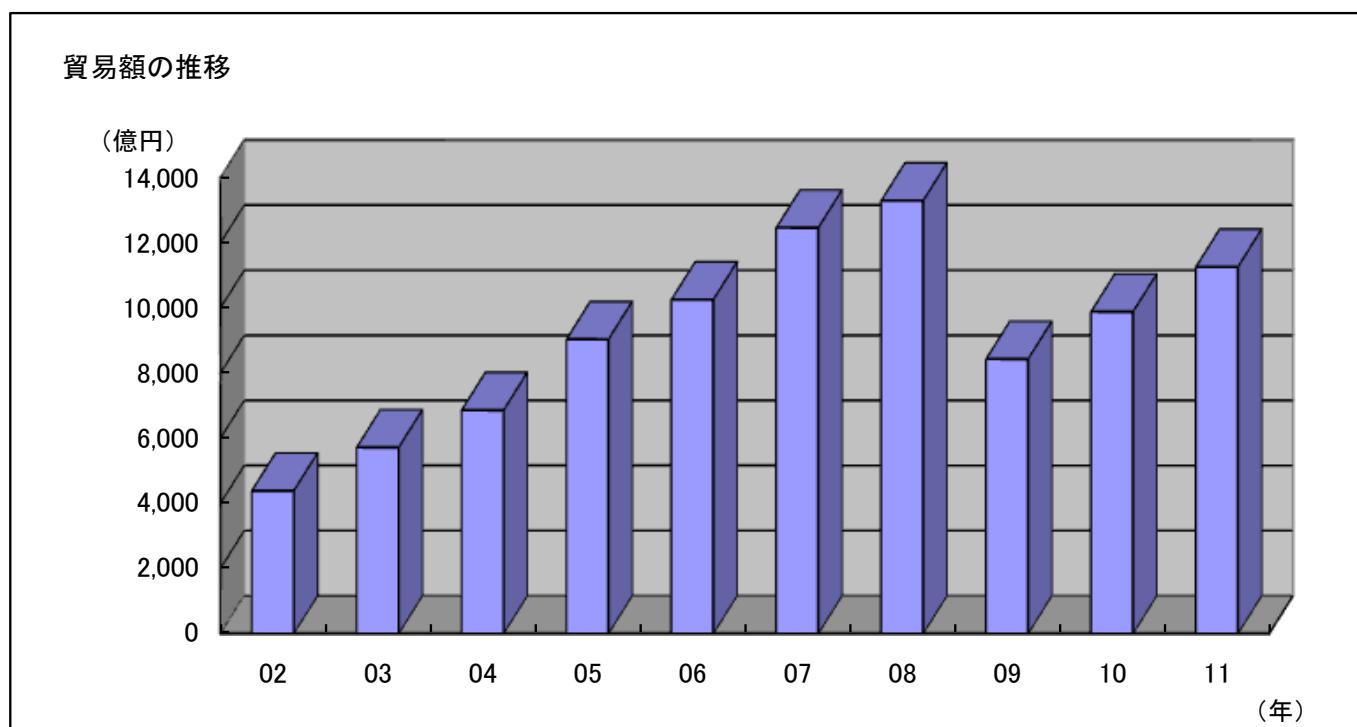
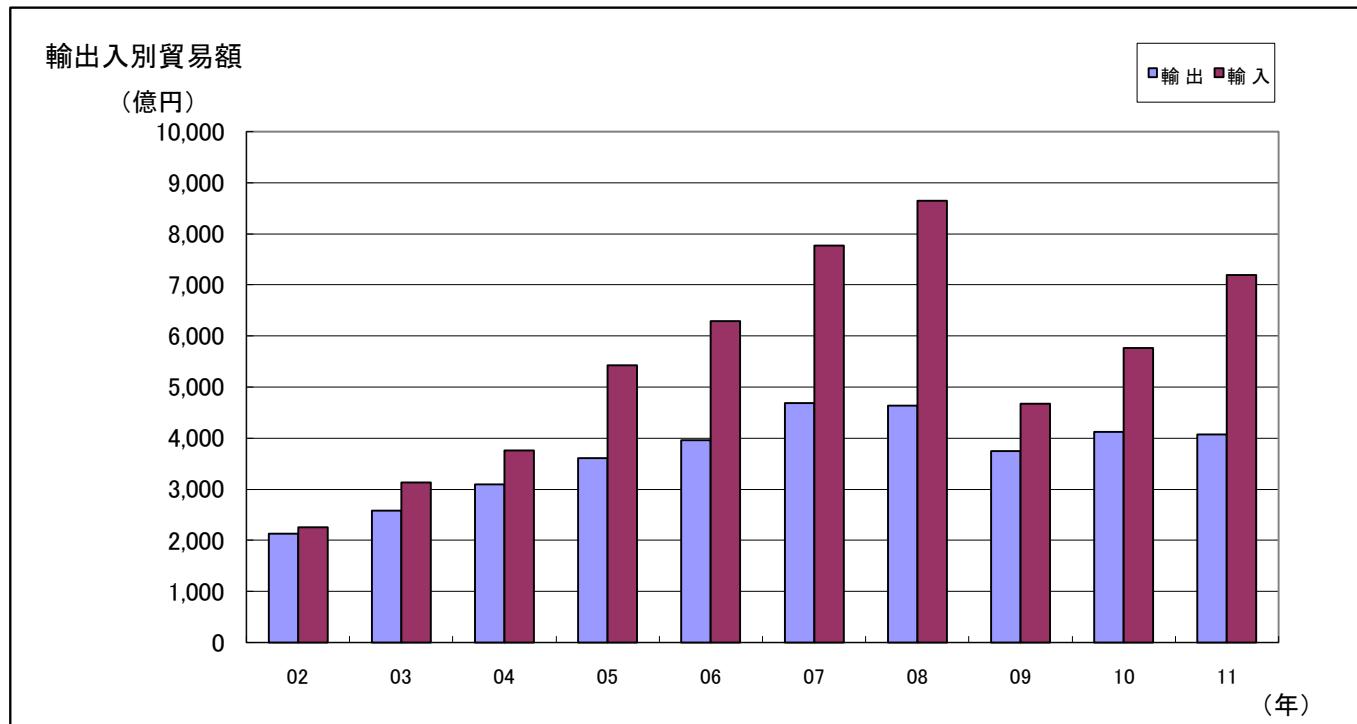
品目別動向では、アラブ首長国連邦、カタール等からの原油及び粗油が1,101億50百万円の増加、インド、サウジアラビア等からの石油製品が87億00百万円の増加、アラブ首長国連邦、カタール等からの液化石油ガスが49億38百万円の増加、オーストラリア、インドネシア等からの石炭が40億88百万円の増加、南アフリカ、ニューカレドニア等からの鉄鋼が38億38百万円の増加となった。

一方、オーストラリア、メキシコ等からの塩が49億04百万円の減少、アメリカ、韓国等からの鉄鋼くずが17億78百万円の減少となった。

《増加品目》 原油及び粗油	3,431億84百万円	( 1,101億50百万円増、+ 47.3%)
石油製品	1,338億75百万円	( 87億00百万円増、+ 7.0%)
液化石油ガス	208億92百万円	( 49億38百万円増、+ 31.0%)
石炭	727億86百万円	( 40億88百万円増、+ 6.0%)
鉄鋼	495億26百万円	( 38億38百万円増、+ 8.4%)
《減少品目》 塩	114億85百万円	( 49億04百万円減、- 29.9%)
鉄鋼くず	116億00百万円	( 17億78百万円減、- 13.3%)

注. この内容を引用されるときは、徳山税関支署発表による旨附記してください。

## 年別 徳山・下松港貿易額推移グラフ



年	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11
輸出	2,129	2,578	3,096	3,610	3,965	4,690	4,642	3,751	4,121	4,068
輸入	2,251	3,134	3,759	5,425	6,288	7,772	8,652	4,678	5,760	7,189
合計	4,380	5,712	6,855	9,035	10,253	12,462	13,294	8,429	9,881	11,258